

史跡今城塚古墳

今城塚古墳は二重の濠をそなえた淀川流域最大の前方後円墳で、学術的には真の継体大王墓といわれています。

発掘調査では、内堤外側の張出で多種多様な形象埴輪を検出したのはじめ、埋葬施設の基礎構造物や墳丘の排水施設など、古墳の実態に迫る貴重な発見が相次ぎました。

約9ヘクタールの古墳公園では、1500年前の「埴輪祭祀場」のすがたを復元、古代の息吹が体感できます。

今城塚古代歴史館

継体大王の時代をメインテーマに、今城塚古墳の実大ジオラマや圧巻の形象埴輪群、3基の復元石棺などを展示。

淀川水運が育んだ三島の古代を、さまざまな出土品や復元模型、映像などで分かりやすく紹介しています。



POINT

●埴輪祭祀場に並ぶ約190点の造形美豊かな復元埴輪は、今城塚古墳のシンボル。埴輪に直接触れることができ、一緒に写真も撮れます。

●今城塚古墳の家形埴輪は高さ171cmで、日本最大

●緑いっぱいの古墳公園でゆったりしたひとときを

●古代歴史館では、ハニワづくりなどの古代体験ができます



問合先 高槻市 文化財課

今城塚古代歴史館 (072-682-0820)